

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
上記基準日 3月31日
 その他臨時に必要な場合には、あらかじめ公告いたします。

配当金受領株主確定日 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 諸手続きに関しましては、三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照の上、行っていただきますようお願いいたします。

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告掲載方法 電子公告

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問合せ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、みずほ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、みずほ信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社プレステージ・インターナショナル
 〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目4番地
 TEL: 03-5213-0220(代表)
<http://www.prestigein.com/>

株式の状況 (2011年9月30日現在)

発行可能株式総数	266,880 株	
発行済株式総数	75,051 株 (うち自己株式 1,000 株)	
株主数	1,541 名	
大株主		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
玉上進一	16,452	22.22
株式会社南部エンタープライズ	11,240	15.18
株式会社タマガミインターナショナル	6,394	8.63
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,087	8.22
メロンバンク エヌエー トリーテイクライアント オムニバス	5,337	7.21
南部 靖之	4,000	5.40
ザバンク オブ ニューヨーク トリーテイクラス デスク アカウト	2,849	3.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,966	2.65
CBHK-TEA CUSTODIANS LTD O/A FISHER FUNDS KIWISAVER SCHEME	957	1.29
毛利 寛	810	1.09

※ 持株比率は、発行済普通株式総数から自己株式(1,000株)を除いて計算しております。

所有者別株式分布状況



- 金融機関 8,864株(11.82%)
- 金融商品取引業者 413株(0.55%)
- その他の法人 18,256株(24.32%)
- 外国法人等 14,420株(19.21%)
- 個人・その他 33,098株(44.1%)

所有数別株式分布状況



- 100株未満 8,750株(11.66%)
1,493名
- 100株～499株 6,559株(8.74%)
33名
- 500株～999株 4,417株(5.89%)
6名
- 1,000株～4,999株 9,815株(13.07%)
4名
- 5,000株～9,999株 17,818株(23.74%)
3名
- 10,000株以上 27,692株(36.90%)
2名



Prestige International

2011 INTERIM FINANCIAL REPORT
 2011.4.1-2011.9.30

ビジネス・プロセス・アウトソーシングの世界標準企業を目指して

当社グループは、創業以来、「エンド・ユーザー（消費者）の不便さ、困ったことに耳を傾け、解決に導く」という経営理念を掲げ、常に新しいサービスを創出し、成長を続けてまいりました。海外旅行者数や自動車新車販売台数の減少、IT化、グローバル化など、当社グループを取り巻く環境は大きく変わろうとしております。そういった環境に対して、当社グループは、人では解決できないBPO事業に特化することにより、様々な高付加価値サービスを創出・提案し新市場を開拓しております。また、当社グループサービスブランド「Premier」が数多くの消費者に利用され、その方々からの感謝の言葉を糧に社会に必要不可欠な企業になるべく挑戦を続けてまいります。

これからも創業時から培ってきたホスピタリティ、ノウハウ、経験と実績、そしてクライアント企業の目線でのサービス向上を担い、エンド・ユーザーの感動を追求した付加価値サービスの提供を通して、BPO事業の世界標準企業を目指します。



付加価値ソリューションの提供

クライアント企業の事業拡大を図る

1 サービスのOEM

クライアント企業のブランド名でサービスを提供

2 サービスのOEM

クライアント企業がコア事業に集中するサービスを提供

Prestige International

ロードアシスト事業	インシュアランス事業	CRM事業	カード事業	プロパティアシスト事業
<p>事業説明</p> <p>損害保険会社や自動車メーカー向けにロードサービスを提供している事業</p>	<p>保険・保証に関する様々な付加価値ソリューションを提供している事業</p>	<p>海外・国内のコンタクトセンターを提供している事業</p>	<p>米国・香港・中国で日本人駐在員向けクレジットカード事業を展開している事業</p>	<p>分譲・賃貸マンション・戸建ての占有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供している事業</p>
<p>サービス概況</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 損害保険会社向けロードアシスタンスサービス ● 自動車メーカー向けロードアシスタンスサービス 	<ul style="list-style-type: none"> ● 損害保険会社向け海外日本語アシスタンス&海外旅行保険クレームエージェント事務代行全般 ● 海外進出日系企業向けヘルスケア・プログラム ● 介護保険向け事務代行全般 ● 家賃保証プログラム ● 自動車メーカー・中古車販売会社向け延長保証メンテナンスプログラム 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内コンタクトセンターアウトソーシング ● 海外コンタクトセンターアウトソーシング ● 損害保険会社向け24時間事故受付業務全般 	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外通貨建てクレジットカード発行/運営(米国・香港・中国) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 不動産関連企業向けホームアシスト ● 駐車場管理会社向けパーキングアシスト
<p>主なクライアント</p> <p>損害保険会社、自動車会社(メーカー、販売会社)など</p>	<p>損害保険会社、海外進出日系企業、少額短期保険取扱会社、不動産管理会社、自動車会社(メーカー、販売会社)など</p>	<p>損害・生命保険会社、カード会社、通信関連会社、高級ブランド会社など</p>	<p>日系航空会社、外資系銀行など</p>	<p>不動産ディベロッパー、不動産管理会社、損害保険会社、駐車場管理会社、カーシェアリング運営会社など</p>

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り心から御礼申し上げます。

ここに当社グループの第26期（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、当中間期（平成24年3月期 上期）につきましては、第三次中期経営計画の2年目として、既存事業の競争力を高めるべく、積極的な拡販活動に取り組み、また急速に進む円高の影響を軽減すべく、原価管理並びに業務効率化を推進し、収益改善を図る取り組みも行なっております。


その結果、売上高110億円、営業利益11億円となり、増収増益となりました。

日頃当社グループ会社の経営にご理解とご支援をいただいている株主・投資家の皆様には心より御礼申し上げます。中間配当金につきましては、グループ全体として持続性のある高収益体制の確立を図り、成長に向けた投資への対応と安心した財務体質の経営基盤の強化を行

ないつつ配当を行なうという基本方針に基づき、1株当たり1,500円をお支払いすることに決定させていただきました。

さて、平成24年度も円高の長期化など厳しい経済環境が続くと思われる中、当社グループとしては、競争優位にある既存事業に対する事業の深堀りと高付加価値サービスの提供を図りつつ、外部環境に左右されない経営基盤をより確立してまいります。皆様の期待にお応えできるよう、グループ企業の役員・従業員一丸となり邁進してまいりますので、株主・投資家の皆様には変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社プレステージ・インターナショナル
代表取締役
玉上 進一



2012年3月期第2四半期サマリー

- 連結売上高は前年同期比24.2%増の11,093百万円、営業利益は同11.6%増の1,109百万円となり、増収増益を達成。
- 2012年3月期の連結業績予想に対する円高の影響額は、売上高125百万円減、営業利益33百万円減。

- 延長保証メンテナンスプログラムが堅調に推移したインシュアランス事業を筆頭に、ロードアシスト事業とプロパティアシスト事業も継続して順調に事業展開が図られたことが、売上高の増加を牽引。
- 営業利益面ではロードアシスト事業において、不採算であった既存受託業務において契約内容を修正したことや業務効率化による費用抑制などが増益に寄与。また、CRM事業においてアジア・オセアニア地域の不採算部門を閉鎖したこと等も、収益性の改善に貢献。

- 下期は、既存事業の拡大に引き続き取り組むとともに、新規クライアント、新規事業の獲得を目指し、営業活動に注力をする。また、原価上昇を招いた事業においては、原価管理体制の見直しにより、収益改善を図る。

ロードアシスタンスサービスの一層の高付加価値化へ向け、業界初となる新スキーム「Paa-S」を開発・導入

このたび新たに開発・導入したPaa-S（プレミアム・オートマチック・アレンジメント・システム）は、ロードアシスタンスサービスの現場での様々なトラブルを最短で解決に導く、当社独自の最新鋭インフラです。このシステムでは、従来から使用している手動システム（Premier-Net）とAndroid端末のアプリ

ケーション「Paa-S」の連動により手配の自動化が図られ、これまで以上に迅速にサービススタッフがトラブル現場に到着することができます。また詳細情報も閲覧可能となっており、オペレーターの聞き取りミス解消を実現しています。



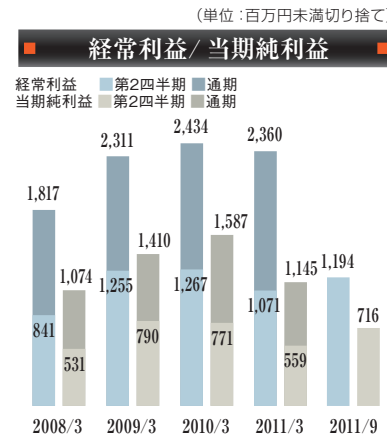
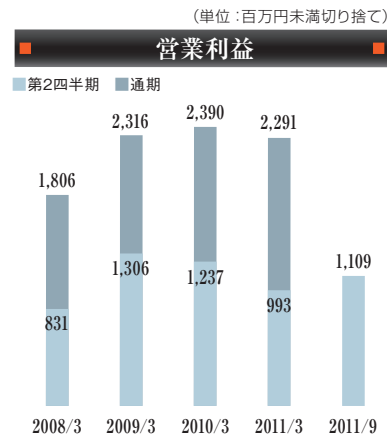
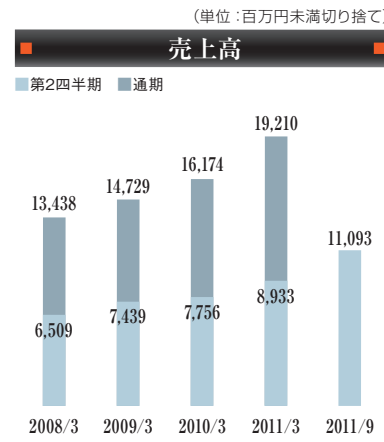
2011年9月着工 順調に建設が進む 「秋田BPOキャンパス サテライト」

秋田BPOキャンパスにおいて、2012年4月1日の操業開始を目指し「秋田BPOキャンパス サテライト」の建設が順調に進んでいます。建設規模は、床面積3,800㎡・座席数300席・寮80部屋を誇り、さらにはカフェテリアの設置・自然光を取り入れた建築デザインなど、24時間365日のサービスを提供する当社グループ従業員にとって、快適に働くことができる環境を追求した設計となっております。



連結貸借対照表(要約)

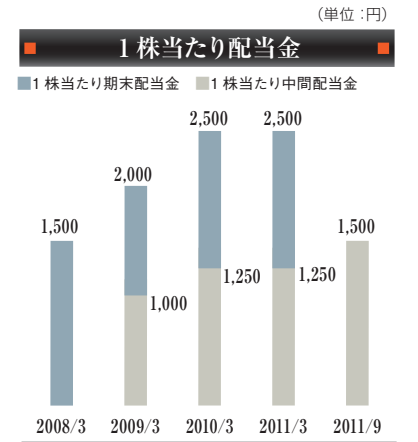
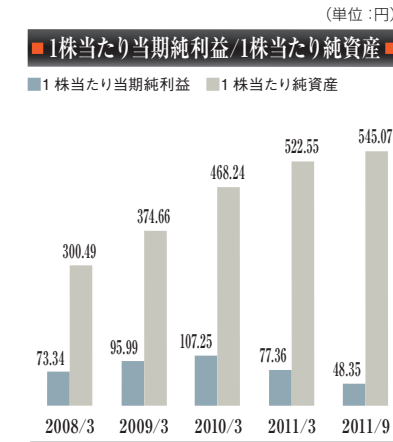
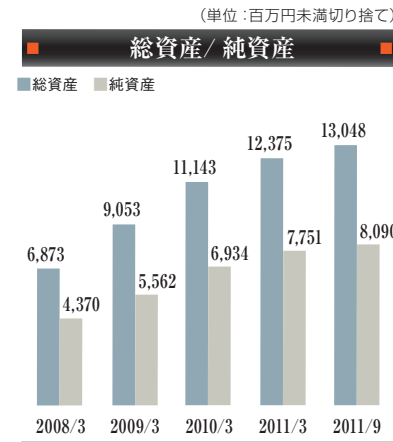
科 目	当第2四半期 2011/9/30現在	前期 2011/3/31現在
資産の部		
流動資産	10,051	9,644
固定資産	2,997	2,731
有形固定資産	1,550	1,505
無形固定資産	489	384
投資その他の資産	956	841
資産合計	13,048	12,375



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円未満切り捨て)

科 目	当第2四半期 2011/4/1~2011/9/30	前第2四半期 2010/4/1~2010/9/30
売上高	11,093	8,933
売上原価	9,025	6,948
売上総利益	2,067	1,985
販売費及び一般管理費	957	991
営業利益	1,109	993
営業外収益	132	89
営業外費用	47	12
経常利益	1,194	1,071
特別利益	—	5
特別損失	12	83
税金等調整前四半期純利益	1,181	993
法人税、住民税及び事業税	469	425
法人税等調整額	25	28
少数株主損益調整前四半期純利益	687	539
少数株主損失(△)	△ 29	△ 19
四半期純利益	716	559



●2011年10月1日付で株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。
●2011年以前のデータは遡及修正の数値を記載しております。

(単位:百万円未満切り捨て)

科 目	当第2四半期 2011/9/30現在	前期 2011/3/31現在
負債の部		
流動負債	4,660	4,295
固定負債	298	329
負債合計	4,958	4,624
純資産の部		
株主資本	8,711	8,089
その他の包括利益累計額	△638	△350
少数株主持分	17	12
純資産合計	8,090	7,751
負債純資産合計	13,048	12,375

(単位:百万円未満切り捨て)

連結包括利益計算書

(単位:百万円未満切り捨て)

科 目	当第2四半期 2011/4/1~2011/9/30	前第2四半期 2010/4/1~2010/9/30
少数株主損益調整前四半期純利益	687	539
その他の包括利益		
他有価証券評価差額金	△ 36	△ 6
為替換算調整勘定	△ 252	△ 179
四半期包括利益	398	353
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427	373
少数株主に係る四半期包括利益	△ 29	△ 19

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円未満切り捨て)

科 目	当第2四半期 2011/4/1~2011/9/30	前第2四半期 2010/4/1~2010/9/30
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,375	950
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 657	△ 752
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 305	35
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 161	△ 95
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	251	138
現金及び現金同等物の期首残高	4,618	4,036
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,869	4,174

部門別事業名



ロードアシスト事業



インシュアランス事業



CRM事業



カード事業



プロパティアシスト事業

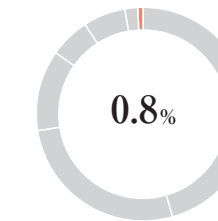
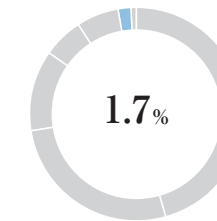
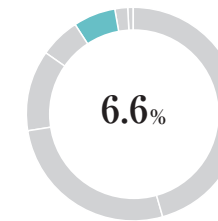
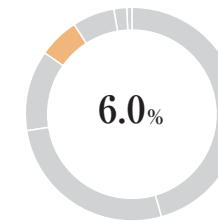
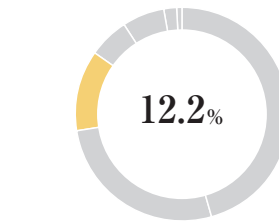
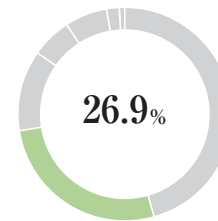
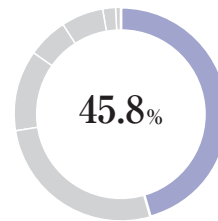


IT事業

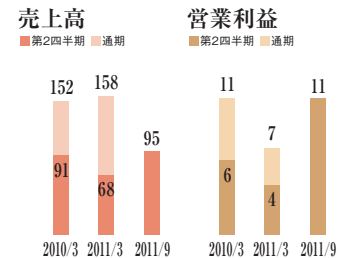
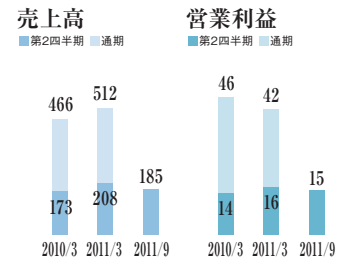
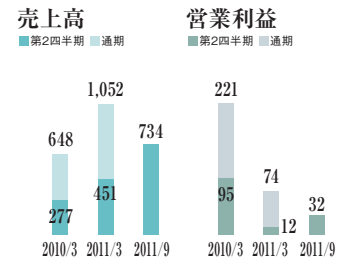
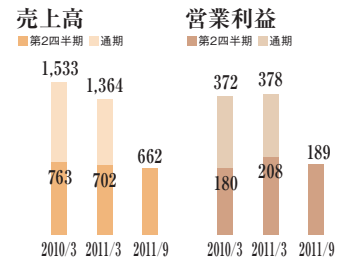
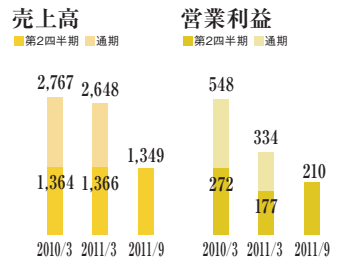
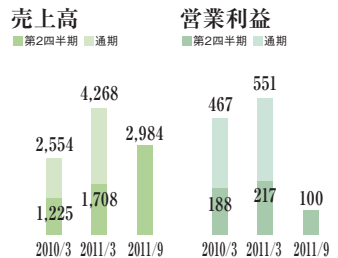
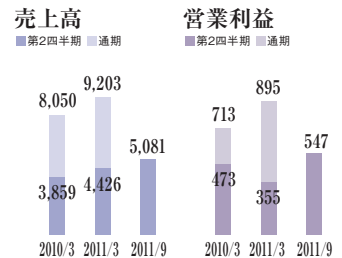


派遣・その他事業

売上高構成比(%)



売上高/営業利益の推移(単位:百万円)



部門別決算ハイライト

- 損害保険会社向けのサービス利用増加及び既存受託業務の拡大により、増収となりました。
- 営業利益につきましては、不採算であった既存受託業務における契約内容の更改並びにサービス利用に伴う費用の抑制などの原価管理の徹底が奏功し、増益となりました。

- 延長保証メンテナンスプログラムにおける加入台数の増加により、増収となりました。
- 営業利益につきましては、延長保証メンテナンスプログラムの売上高増加に伴う原価増加、及び子会社における家賃保証プログラムの再保証料上昇による原価増加により、減益となりました。

- 主に海外ブランド等のコンタクトセンター業務が好調に推移しましたが、国内の既存受託業務が一部終了した影響により、減収となりました。
- 営業利益につきましては、円高の影響による減収要因があったものの、アジア・オセアニア地域の不採算部門の閉鎖と原価管理の徹底が寄与し、増益となりました。

- 東日本大震災の影響による、日本人駐在員の一時的な利用減は持ち直されつつありますが、円高の影響により減収となりました。なお、前期と比較し、全体のカード会員数は微増となっております。
- 営業利益につきましては、業務の効率化を行なっているものの、円高の影響により、減益となりました。

- 駐車場管理会社向けサービスにおける既存受託業務の一部終了及び委託料の減額などの減収要因があったものの、不動産向けサービスにおける新規受託業務の獲得及び既存受託業務の成長により、増収となりました。
- 営業利益につきましては、不動産向けサービスにおける委託単価の見直し及び原価管理体制の強化により、増益となりました。

- IT関連子会社において、東日本大震災の影響で既存事業の拡大が遅れたことなどにより、減収となりました。
- 営業利益につきましては、売上高が縮小したことにより減益となりました。

- 既存受託業務が堅調に推移したことと前期より開始した研修教育サービスが拡大したことにより、増収となりました。
- 営業利益につきましては、売上高の拡大と固定費が削減されたことにより、増益となりました。

会社概要 (2011年9月30日現在)

会社名 株式会社プレステージ・インターナショナル
 Prestige International Inc.
 設立 1986年10月
 資本金 9億8,647万円
 本社所在地 〒102-0083 東京都千代田区麹町一丁目4番地
 事業内容 ビジネス・プロセス・アウトソーシング
 従業員数 1,756人(連結)
 拠点 世界13ヶ国 16拠点
 URL http://www.prestigein.com/

会社役員 (2011年9月30日現在)

代表取締役 玉上進一
 取締役 八久保勝也
 取締役 橋本幹夫
 取締役 関根浩
 取締役 中村干城
 取締役 赤井弘
 常勤監査役 吉田範夫
 監査役 盛岡治英
 監査役 三上純昭
 監査役 神門いづみ

ネットワーク (2011年9月30日現在)

秋田BPOキャンパス 〒010-1633 秋田県秋田市新屋島木町1-172
 幕張BPOセンター(幕張支店) 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-7-1

ロンドン 上海 香港 台北 北京 秋田 幕張 東京
 バンコク マニラ 宿務 香港 台北 北京 秋田 幕張 東京
 クアラルンプール シンガポール ジャカルタ
 ホノルル ロサンゼルス(アーバイン) シドニー サンパウロ

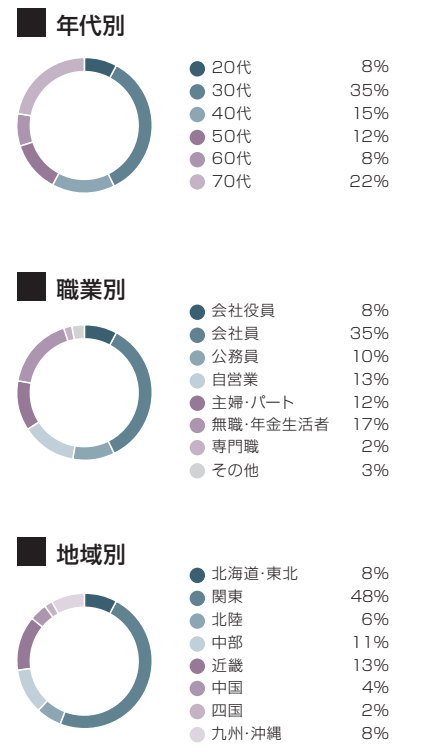
法人 支店・駐在所

子会社
 国内
 Prestige Humansolution Inc.
 Time Commerce Co., Ltd.
 Premier Assist East Inc.
 Premier Assist West Inc.
 All Assist Inc.
 Premier Property Service Inc.
 Entrust Inc.
 Premier Network Inc.
 Premier Park Assist Inc.
 Premier X-value Inc.
 北米・欧州
 Prestige International USA, Inc.
 Prestige International U.K. Ltd.
 アジア・オセアニア
 Prestige International (S) Pte Ltd.
 Prestige International China CO., LTD.
 PRESTIGE INTERNATIONAL (THAILAND) CO., LTD.
 Prestige International (HK) Co., Limited
 PRESTIGE INTERNATIONAL AUSTRALIA PTY LTD.

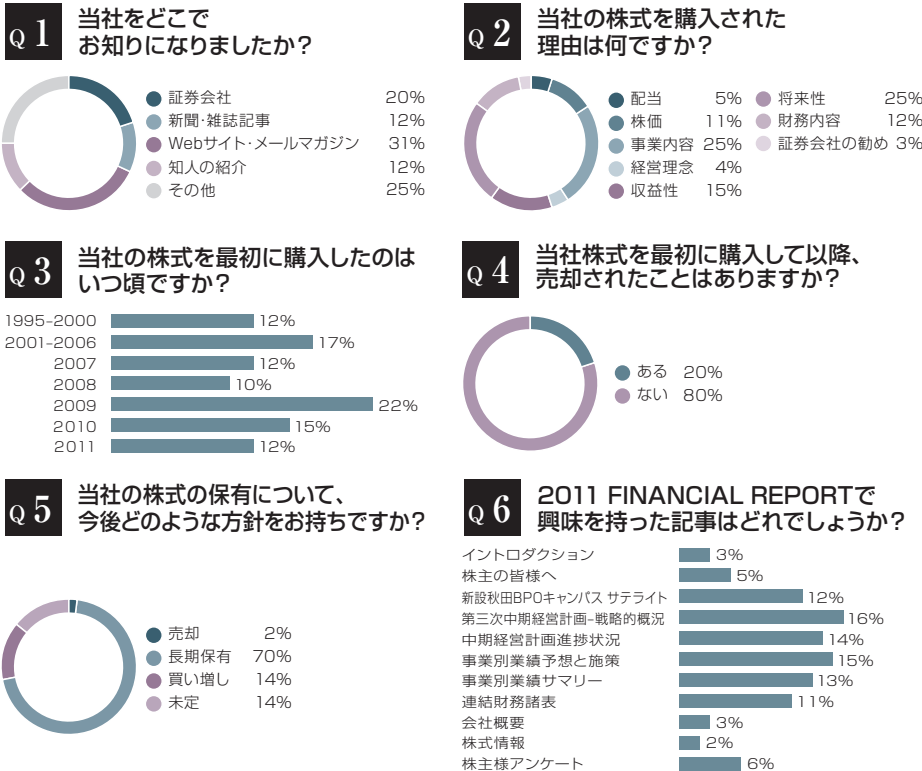
関連会社
 Premier Lotas Network Inc.
 CRS Inc.
 Triple Ace Inc.

当社では、株主の皆様の声を伺い、株主様とのコミュニケーションの充実を図っていきたくと考えております。その一環として定期的に皆様へのアンケートを実施したいと考えております。以下に、2011年6月末時点での株主様を対象としたアンケートの結果について、ご報告させていただきます。

株主プロフィール



アンケート結果



株主の皆様から寄せられたご意見・ご感想 (一部抜粋)

Q ●株主への利益還元は自社株買いをしていただきたい。(関東、会社員、30代、女性)
 ●事業拡大のための投資も、もうすぐ落ち着く頃なので、配当のUPもしくは、自社株買を希望します。(九州・沖縄、会社役員、40代、男性)

A: 貴重なご意見ありがとうございます。利益還元につきましては、当社でも重要な課題と位置づけております。過去、企業業績の向上に伴い増配を実施してまいりました。また、前期(平成23年3月期)は特別損失等が発生し、当期純利益の水準を下げてまいりましたが、配当につきましては予定通り実施をいたしました。今後とも、戦略的な投資を積極的に行なっていく方針ではありますが、安定・継続した株主還元策をも同時に実施してまいりたいと考えております。

Q ●事業別業績の結果と今後の展望について興味深く拝見しました。今後も情報公開に積極的であり、利益を伸ばし続ける会社であることを望みます。(中部、会社員、30代、男性)

A: 平素よりご支援賜りましてありがとうございます。株主の皆様のご期待にお応えできるよう、既存事業の差別化、サービス品質の向上等により企業価値を高めるべく、全力を尽くしてまいります。